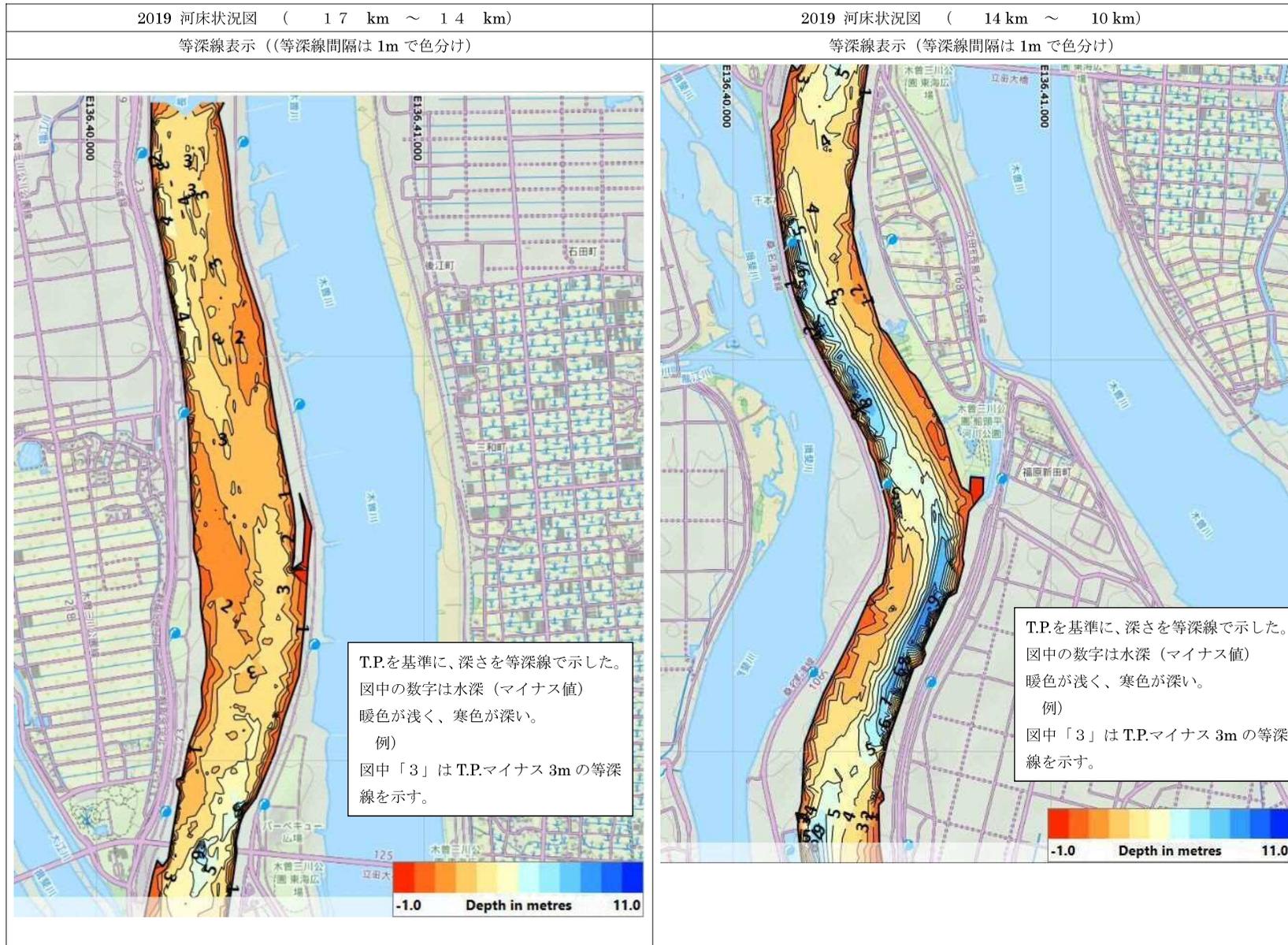


第 15 回愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会 説明資料

河床状況比較  
2013 年・2019 年

新村安雄（リバーリバイバル研究所）

2019/07/31



2013 河床状況図 ( 17 km ~ 14 km)

等深線表示 ((等深線間隔は 1m で色分け)



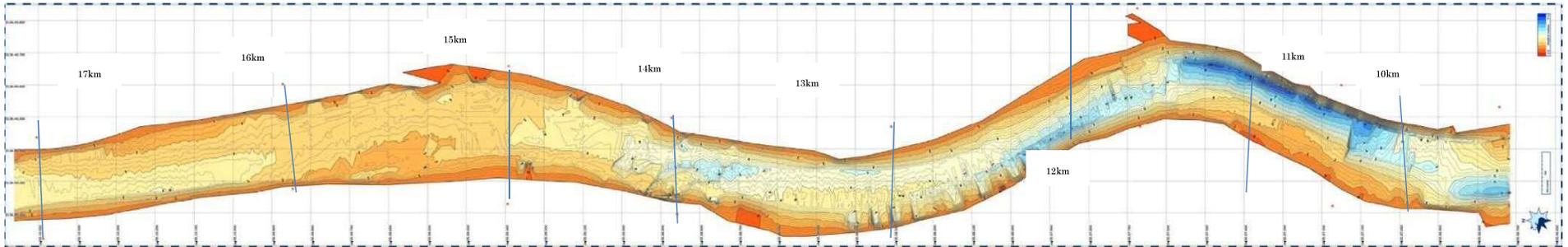
2013 河床状況図 ( 14 km ~ 10 km)

等深線表示 (等深線間隔は 1m で色分け)

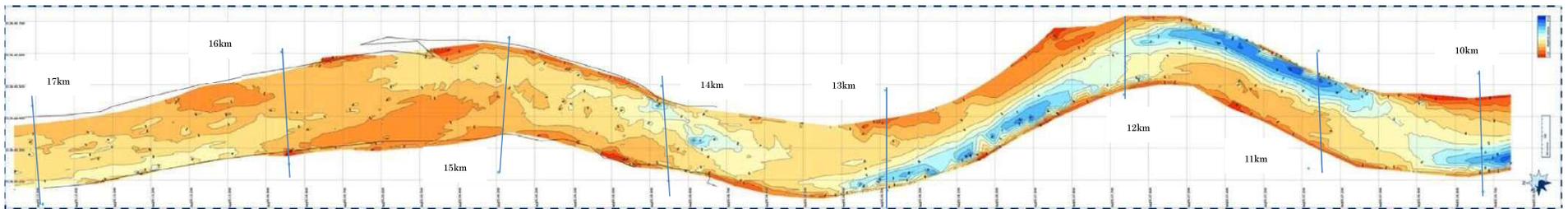


◎ 2013年 2019年 河床比較

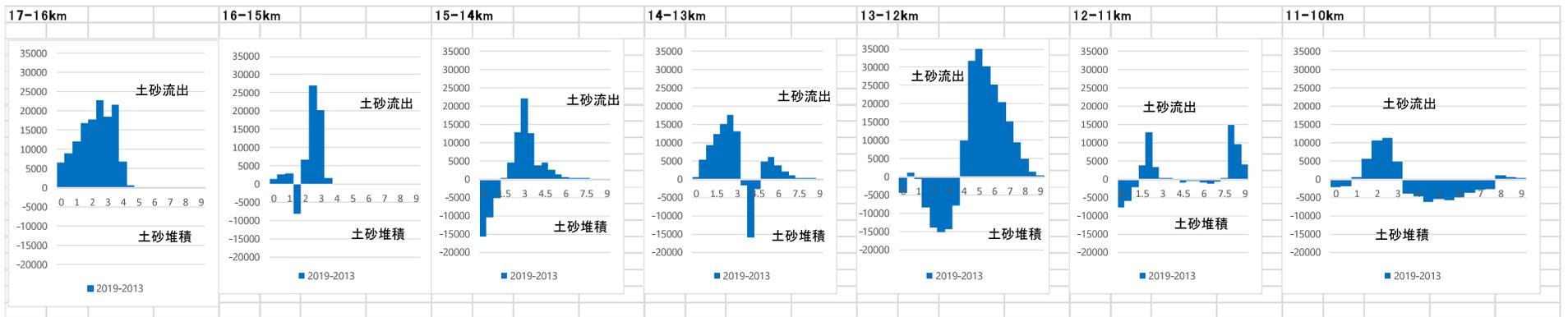
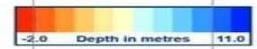
○ 2013年



○ 2019年

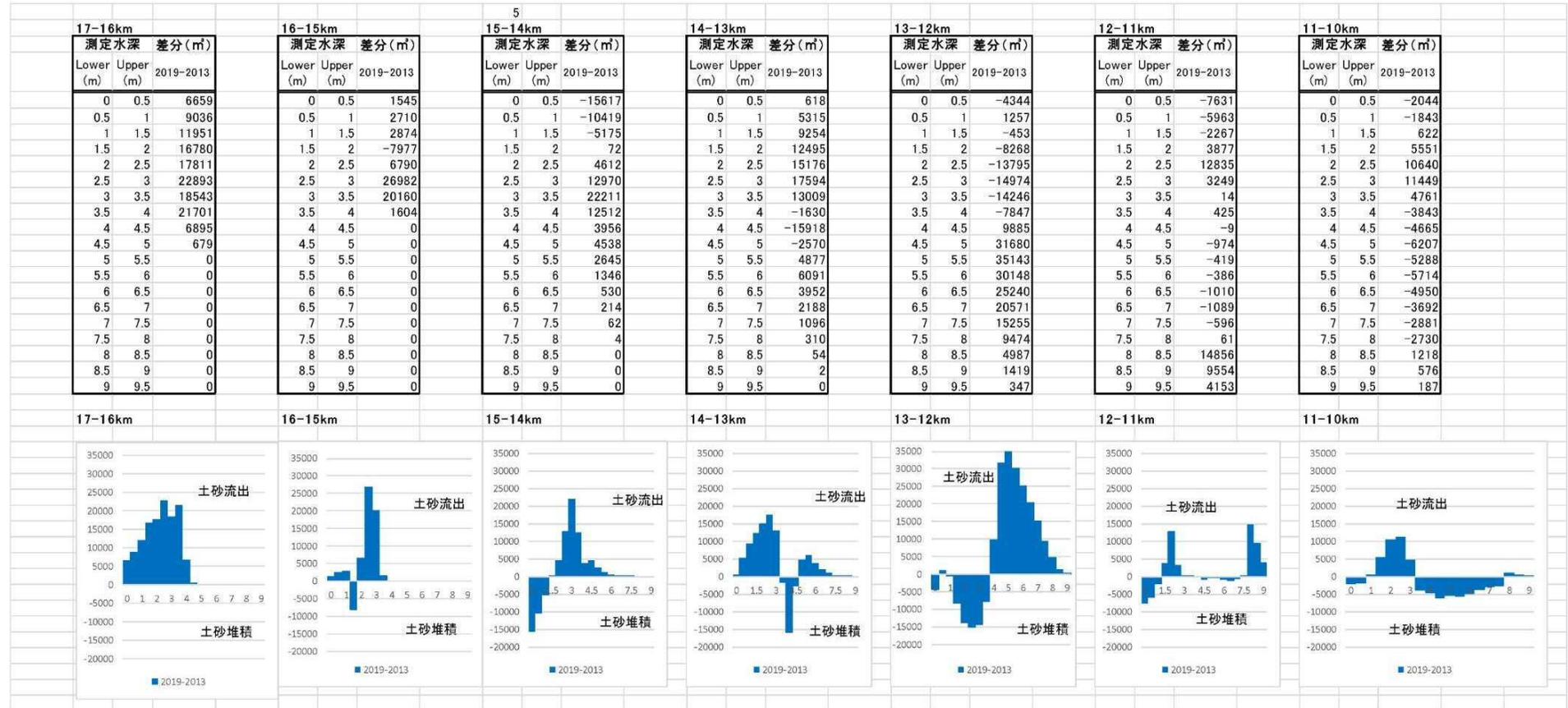


◎ 横状況



縦軸：水量変化 (立方m) 横軸：測定層 (0.5m 当たり)

堆積狀況

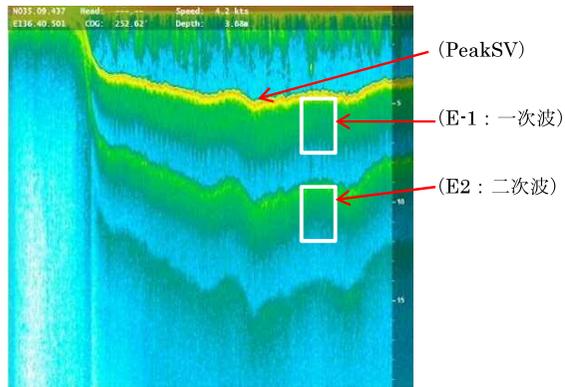


◎ 硬さマップ

海底マップ製作ソフト リーフマスター 2.0 にオプション設定されている「硬さマップ」を使用して、観測地点の河床の硬さを表示した。

硬さについては、リーフマスター社が独自のアルゴリズムで行っている表示で、評価基準は相対的なものである。

魚群探知機により取得される反射波は以下の3つのバンドに示される。



(PeakSV)

単純に反射音波の強度を示す。二次波ほど底の硬さを表さない。水深のデータはこの反射をもとに取得している。

(E・1 : 一次波)

通常「おびき」と呼ばれる一次波は「底の荒さ」を示す指標を考えられている。

(E2 : 二次波)

二次波は底を打って戻って来た音波が水面で反射して、再び河床をとらえて戻って来たデータのこと。「底の硬さ」を解析するのに最も現状を反映した値を示すとして、リーフマスターはこの「E2」のデータをもとに硬さを解析している。

2019 河床状況図 ( 17 km ~ 14 km)

硬さマップ (色が濃いほど河床は硬い)



2013 河床状況図 ( 17 km ~ 14 km)

硬さマップ (色が濃いほど河床は硬い)



2019 河床状況図 ( 14 km ~ 10 km)

硬さマップ (色が濃いほど河床は硬い)



2013 河床状況図 ( 14 km ~ 10 km)

硬さマップ (色が濃いほど河床は硬い)

